



2023年4月28日

各位

会社名 大研医器株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田圭一
 (コード: 7775 東証プライム)
 問合せ先 経営管理本部長 多久和良
 (TEL. 0725-30-3150)

棚卸資産評価損(売上原価)及び固定資産除却損(特別損失)の計上並びに 2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期会計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)において、下記のとおり棚卸資産評価損及び固定資産除却損を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2022年10月31日に公表した2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想について、本日開催の取締役会において下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損(売上原価)及び固定資産除却損(特別損失)の計上

当社吸引器事業における手術室用吸引器「フィットフィックス」の後継機種として、医療現場の潜在的な市場ニーズをくみ取り、新たなイノベーションの創出を期待し、新製品「バイロン」を2021年度に本格上市いたしました。しかしながら、コロナ禍における病院デモ活動の制約と市場ニーズの先行的な取り込みという側面により一部の病院での採用にとどまっており、当初想定した販売予測より低迷しております。

また、電子部品の調達難の外部環境を受けて、一部、原材料について在庫確保を目的として、先行的な手配を実施しておりました。

今般「バイロン」の今後の販売予測を再度精査し見直した結果、製品、仕掛品、原材料在庫について棚卸資産評価損170,786千円を計上することといたしました。

さらに、吸引器事業のありかたを再考し、次世代吸引器の開発を進めていることから当該「バイロン」の量産設備、量産金型について今後使用が見込まれないものにつきまして、固定資産除却損28,508千円を計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	1,200	1,200	840	29.24
今回修正予想(B)	9,130	1,050	1,050	710	24.71
増減額(B-A)	130	△150	△150	△130	-
増減率(%)	1.4	△12.5	△12.5	△15.5	-
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	8,540	1,150	1,152	831	28.93

3. 修正の理由

売上につきましては、手術件数の堅調な推移により、主力製品である吸引器関連（フィットフィックス、キューインポット）および注入器関連（シリンジェクターPCA セット、バルーンジェクターPCA セット）における販売数量の堅調な伸びに加えて、昨年度本格上市した新製品「エイミー（注入器関連）」が医療現場で好評を得ており、販売が好調に推移していることから売上高を修正することといたしました。

一方で利益面につきましては、急激な円安基調や原油価格並びに物流コストの高騰等による影響に対して、主力製品の売上高の増加や研究開発費等の販売管理費の削減による利益増加があったものの、今般の「バイロン」の棚卸資産評価損及び固定資産除却損の計上により、営業利益及び経常利益並びに当期純利益ともに前回予想を修正することといたしました。

4. 配当予想について

2023年3月期の期末配当金につきましては、直近の配当予想から変更なく、1株当たり11円を予定しております。これにより、年間配当金は1株あたり20円（第2四半期末9円、期末11円）となります。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、また、監査法人による会計監査前の数値であるため、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる可能性があります。

以 上